

## ◆ ◆ ◆ 小論文 ◆ ◆ ◆

**総合・国内共通問題**

若年層の国際交流を図る海外旅行促進策としてどのような働きかけ、施策等が必要だと思われますか。

国レベル、業界レベル、また個人レベルで考えられることを800字程度で述べなさい。

**出題の背景**

- ① 日本人の海外渡航者数を訪日外国人旅行者数が上回る傾向にあるなか、観光庁は昨年「若者のアウトバウンド活性化に関する検討会」を立ち上げ、海外旅行促進への取組を進めてきている。
- ② 一般社団法人日本旅行業協会（JATA）は「アウトバウンド促進協議会」を立ち上げ、「ヨーロッパの美しい街道・道20選」や「世界遺産級台湾30選」等を発表するとともにナイトエンターテイメントの振興にも意欲的に取り組んでいる。

**出題の趣旨**

- ① 観光産業の中で日々添乗業務を通し、多様な年代層の旅行者を直接接している専門添乗員の方々はマーケットの回復の鍵をどう捉えているか。

**解 説**

欧州でテロが頻発する中、旅行者の安心と安全を図る上で「添乗員同行ツアー」への期待が高まっています。外務省は昨年「添乗員のための海外安全対策セミナー」を数回開催し、「たびレジ」の紹介がなされました。海外旅行者が旅行先、期間、メールアドレス等を登録すると外務省から安全についての最新情報がメール配信されるサービスを通し、安否確認も行われます。

また、若年層の旅券取得費用も無料にする案等も検討されているようではありますが、果たして実現するかどうか未定です。

当小論文提出者の中には、画期的な提言も見られ、具体的な活動に結びつけられたら功を奏するのではないかと考えられました。例えば、個々の添乗員の出身校の学生を「旅博」に紹介し、異文化イベントに参加させ、未知なる世界への興味、関心を持ってもらう等です。

また、日本添乗サービス協会会員各社の人材育成計画に当認定制度をリンクさせ、ランクアップにつなげていく仕組みは出来ないのかといった提言もみられました。これらの案をまとめ提言できる場があれば協会として活用させて頂きたいと考えていますが、中には思いついた事柄を羅列しただけの感想文のような小論文もあり、玉石混交の感を禁じ得ません。

協会では添乗を専門職とする全添乗員の方々にこの能力資格認定試験にチャレンジして頂き、主たる旅行会社に認めて頂ける制度として充実させてゆきたいと願っています。